

氏名	杉本久美子
所属校名	柴田学園大学
所属学科	子ども発達学科
職名	教授
学位	修士（文学）
研究分野のキーワード	E. M. フォースター、エリザベス・ボウエン

内容	論文題目及び雑誌、発表演題及び学会名等
著書 (2017～2021年度)	杉本久美子. 2018. 「ガイドブック『アレクサンドリア』にみるE. M. フォースターの変化と思想の旅路」『旅と文化 英米文学の視点から』東京：音羽書房鶴見書店、128-145. 杉本久美子. 2020. 「〈もの〉は語る一人・家・自然が生み出す詩的でない言葉」『エリザベス・ボウエン 二十世紀の深部をとらえる文学』東京：彩流社、117-132.
論文 (査読なし雑誌等) (2017～2021年度)	杉本久美子. 2017. 「『ホテル』におけるホテルとシドニーの多面性」『紀要』第55号（東北女子大学・東北女子短期大学）34-41.
学会発表 (2017～2021年度)	オースティンとフォースター、そしてボウエンへ —エリザベス・ボウエンの小説にみるオースティンの影響— 日本オースティン協会第11回大会 2017 フォースターの館 —時代より生まれ、時代を超えたもの— 日本大学英文学会9月シンポジウム 2018
その他の活動 (2017～2021年度)	エリザベス・ボウエンの『最後の九月』における「時」の描写と効果について 柴田学園研究力アップセミナー 柴田学園大学 2022（研修会講師）
著書 (2016年度以前)	杉本久美子. 2015. 「AustineteとしてのE. M. Forster —EmmaとHowards Endの比較からAustenの影響をみる」『イギリス文学の悦び』大阪：大阪教育図書、131-144. 杉本久美子. 2016. 「光と影の効果から読み解くヒロインの心理—反転する始まりと終わりの意義について—」『エリザベス・ボウエンを読む』東京：音羽書房鶴見書店、49-64
論文 (査読有り雑誌) (2016年度以前)	杉本久美子. 2012. 「実在」の証明—The Longest Journeyにおける主人公の死の意味について—『英文学論叢』第60巻（日本英文学会）14-24.
論文 (査読なし雑誌) (2016年度以前)	杉本久美子. 2012. 「The Machine Stops—試論— 象徴的表現の意味と効果について—」『紀要』第50号（東北女子大学・東北女子短期大学）146-151 杉本久美子. 2013. 「The Last SeptemberにおけるDanielstown炎上の意味することについて」『紀要』第51号（東北女子大学・東北女子短期大学）130-135. 杉本久美子. 2016. 『ハワーズ・エンド』と『最後の九月』の比較からみるフォースターとボウエンの関係性について『紀要』第54号（東北女子大学・東北女子短期大学）46-52.
学会発表 (2016年度以前)	The Longest Journey と Maurice に見るE. M. Forsterのジレンマ 日本英文学会東北支部/東北英文学会第65回大会 2010 Where Angels Fear to Tread 論 —二つの死と「和解」のミルク— 日本大学英文学会1月例会 2012 A Passage to IndiaにみるE. M. Forsterのパターンとリズム 欧米言語文化学会第4回年次大会 2012 「状況小説」として読むHowards End —「文化的対立」と「三代目」を手がかりに— 日本大学英文学会9月シンポジウム 2014 —破滅的な過去と脆弱な未来— 『バリの家』で描かれる囚われた大人たちと明敏な子どもたち 欧米言語文化学会第8回年次大会 2016
その他の活動 (2016年度以前)	拮抗しあう陰と陽—The HotelにおけるSydneyの表裏性— エリザベス・ボウエン研究会 2016（発表者）